

1 単元名 「世界の諸地域（北アメリカ州）」

2 本単元で育成する資質・能力

- (1) 北アメリカ州の地域的特色を理解し、収集した資料から、北アメリカ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択することができる。 (知識及び技能)
- (2) 北アメリカ州の地域的特色を、そこに暮らす人々の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 北アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に捉えようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アメリカ合衆国に暮らす人々の生活を基に、地域的特色を理解しているとともに、諸資料から地理的な事象に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	アメリカ合衆国において、地球的課題の要因や影響を地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察したり、表現したりしている。	アメリカ合衆国に関わる諸事象について、そこで見られる地球的課題を主体的に追究、解決しようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は学習指導要領解説社会編（平成29年7月）地理的分野「内容B世界の様々な地域(2)世界の諸地域」に位置付けられている。本単元では、世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、表れ方が異なることを理解する。また、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現することをねらいとしている。

(2) 生徒の実態（第1学年*組**人）

令和元年*月*日実施

<p>○（アジア州のどこかに日本の自動車工場を建設する前提において、工場建設を許可した国は）なぜ日本の工場建設に賛成したのか理由を述べなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手国の立場に立って、地域的特色を関連付けて述べる事ができた。 *人 ・相手国の立場に立ったが、地域的特色を適切に述べる事ができない。 *人 ・相手国の立場に立って考察することができない。 *人 ・無答 *人
--

実態調査の結果、相手国の立場に立つことで、多角的に考察を行い、その国の地域的特色を関連付けながら多面的に記述できた生徒が*であった。また、多角的な考察はできるものの、地域的特色に関連付けて根拠を明確にして考えを述べる事ができない生徒が*人であった。このことから、異なる立場に立って地域的特色を関連付けることを苦手とする生徒が多く、多面的・多角的に考察する力が不十分であることが分かった。

(3) 指導観

本単元では北アメリカ州における地球的課題の解決に向けて比較、関連付け、総合し、再構成する学習活動を通して地域的特色を多面的・多角的に考察する力を育成する。まず、地理的な事象を大観し、単元を貫く学習課題を設定する。次に、比較、関連付けを通して、地理的な事象を相互につなげられるよう、付箋を活用して情報や思考の整理を行い、地域的特色を捉える。そして、これまでの学習を総合する活動では、複数の地域的特色を関連付けて考察できるよう、様々な地理的な事象から地域的特色を焦点化していくワークシートを活用する。最後に、これまで捉えてきた地域的特色を再構成する活動では、地球的課題と関連付けて考察できるよう、現実的な課題を設定し、自分の考えを記述する。これらの活動を行うことで、地域的特色を多面的・多角的に考察する力を育てていきたい。

5 単元の指導計画（6時間扱い）

時	学習活動及び内容	指導上の留意点と評価（◎は評価）
1	1 アメリカについて知っていることを発表する。 2 学習課題を確認する。 アメリカはどんな国なのだろう。 3 諸資料を提示し、アメリカを大観し、地理的な事象をつかむ。 4 見いだした地理的な事象から疑問に思ったことを書く。 5 単元を貫く学習課題を設定する。 アメリカはなぜ世界トップクラスの経済大国になったの だろう。 6 単元の学習計画を確認する。	・生徒の興味・関心が高まるよう、事前にアメリカ産物の物や文化を調べさせたり、画像や実物資料を提示したりする。 ・アメリカを大観する際は、自然環境、人種、生活様式等の資料を精選して提示する。 ・地理的課題についても取り上げ、持続可能な社会に向けての取り組みについても触れる。 ・今後の学習の見通しをもたせられるよう、学習計画表を配付する。 ・本時を振り返り、アメリカとはどんな国か自分の言葉でまとめ、疑問に思ったことやこれから調べてみたいことを書くよう助言する。 ◎アメリカの地理的な事象について、大観している。 （主体的に学習に取り組む態度）【発表、ワークシート】
2	1 単元を貫く学習課題を解決するために何について調べればよいか見通しをもつ。 2 学習課題を確認する。 学習課題を解決するために何について調べればよいら だろう。 3 アメリカの農業、工業について疑問に思ったことを挙げる。 4 単元を貫く学習課題の予想を考える。	・ワークシートを活用して、農業、工場を調べるとき、位置や分布、人間と自然環境の相互依存関係等の見方ができるようにする。 ・5W1Hの視点をもたせることで、アメリカの農業、工業について疑問に思ったことを出しやすくする。 ◎地理的な事象を関連付けながら、単元を貫く学習課題の予想を考えている。 （思考・判断・表現）【発表、ワークシート】
3	1 諸資料からアメリカの農業について関心を高める。 2 学習課題を確認する。 アメリカはなぜ大量の農産物を輸出できるのだろうか。 3 本時の学習課題に対する予想を立てる。 4 どこで、何を調べているのかグループで調べる。 5 グループで調べて分かったことを発表する。 6 その他、疑問に思ったことを調べ、比較し、関連付けながらまとめ、全体で共有する。 7 本時のまとめと振り返りを行う。	・本時の学習への疑問をもたせるため、茨城県産龍ヶ崎市とアメリカの農業を比較する。 ・アメリカの農業の特色に気付かせるよう、世界の食料生産量と輸出量のグラフから、他国との比較資料を提示する。 ・何について調べればよいか5W1Hの視点を示す。 ・グループでまとめた内容はICT機器を使って、全体で投影する。 ・情報共有の際、地理的課題についても触れるようにする。 ◎地域的特色を関連付けながらアメリカの農業について自分の考えを記述している。 （思考・判断・表現、知識・技能）【発表、ワークシート】
4	1 諸資料からアメリカの工業について関心を高める。 2 学習課題を確認する。 アメリカはどのようにして世界最大の工業力をもつようになったのだろうか。 3 本時の学習課題に対する予想を立てる。 4 多様な視点を持ち比較し、関連付けながら調べるよう視点を示す。 5 調べたことをグループで紹介し合い、比較し、関連付けながらまとめ、全体で共有する。 6 本時のまとめと振り返りを行う。	・本時の学習への疑問をもたせるため、茨城県とアメリカの工業を比較した資料を提示する。 ・産業への疑問を明確にするために、5W1Hの視点を示す。 ・グループになり、調べて分かったことを色分けした付箋を活用して、類型化し、それを関連付けながら、情報共有できるようにする。 ・グループでまとめた内容はICT機器を使って、全体で投影する。 ・情報共有の際、地理的課題についても触れるようにする。 ◎地域的特色を関連付けながらアメリカの工業について自分の考えを記述している。 （思考・判断・表現、知識・技能）【発表、ワークシート】
5 本時	1 学習課題を確認する。 アメリカはなぜ世界トップクラスの経済大国になったのか、これまでの学習を振り返って解決しよう。 2 単元を貫く学習課題を解決するために、農業と工業の特色を確認し、重要と思われる地理的な事象や地域的特色を見だし付箋に記述し、ワークシートに貼る。 3 調べた内容をグループで紹介し合い、お互いの情報を共有する。 4 課題解決に向けて必要な地域的特色を三つに焦点化する。 5 単元を貫く学習課題に対する自分の答えをワークシートに書く。 6 学習課題の各自の答えを発表し合い、全体で共有する。 7 振り返りを行う。	・アメリカの農業、工業に関する資料は、第3時と第4時で使用したワークシートを活用するよう助言する。 ・農業、工業の地理的な事象を色分けした付箋に記述し、可視化できるようにする。 ・付箋を貼ることで気付いたことなど、自由に記入させ、地理的な事象同士の間接付けができるようにする。 ・グループでの対話を通して、課題解決に必要な地域的特色を三つに焦点化できるようにする。 ・それぞれの考えはICT機器を使って、全体で投影する。 ・単元を貫く学習課題の答えを発表し合い、適切な語句を組み合わせて黒板に提示する。 ◎単元を貫く学習課題の解決について、地域的特色を関連付けながら自分の考えを記述している。 （思考・判断・表現）【発表、ワークシート】
6	1 前時の地域的特色を互いに見合う。 2 学習課題を確認する。 アメリカの産業は今後どうなっていくのだろうか。 3 大量生産、大量消費が今後のアメリカ産業にどのような影響を与えるのかを予想する。 4 その変化に対する対策について考える。 5 グループ内で考えを発表し合う。 6 アメリカの産業と持続可能な社会の両立に向けて、解決策を考察する。 7 単元全体の振り返りを行う。	・前時のワークシートに記入した地域的特色について、情報交換を行い、知識の再構成ができるようにする。 ・アメリカが直面している「つくる責任、つかう責任」の問題についての視点をもてるよう、持続可能な開発目標を提示する。 ・生徒が学習課題を自分事として捉えられるよう、現実的な課題と問いを設定し、生徒に投げかける。 ・アメリカの問題について、共通点が日本にも多々あることに気付かせ、この問題が自分事となるよう資料等を提示する。 ・イメージマップを作成し、地理的課題と地域的特色を関連付けられるようにする。 ・生徒の視点を広げるため、ICT機器を活用して様々な意見を投影する。 ◎地域的特色と地理的課題を関連付けながら自分の考えを記述している。 （思考・判断・表現）【発表、ワークシート】